

体外診断用医薬品

[届出番号 13A2X00197218094]

ご使用に際しては、本電子化された添付文書をよくお読みください。

血液検査用ガンマーグルタミルトランスペプチダーゼキット
(分類コード番号: 38507001)

(アテリカ用)

ピアオトS γ -GT

全般的な注意

1. 本品は、体外診断用医薬品ですので、それ以外の目的には使用できません。
2. 測定結果に基づく臨床判断は、臨床症状や他の検査結果などと合わせて担当医師が総合的に判断してください。
3. 投与された薬剤による測定結果の影響に関しては、当該薬剤の添付文書に記載されている使用上の注意、特に臨床検査結果に及ぼす影響の項をよくお読みください。また、本添付文書の【操作上の注意】2. 妨害物質の項や【測定結果の判定法】2. 測定上の注意の項もよくお読みください。
4. この添付文書に記載された使用方法に従って使用してください。記載された使用方法及び使用目的以外での使用については、測定値の信頼性を保証しかねます。
5. 試薬が誤って目や口に入った場合には、水で十分に洗い流す等の応急処置を行い、必要があれば医師の手当て等を受けてください。
6. 本品を使用する際は精度管理を実施し、精度が確保されていることを確認してください。

形状・構造等(キットの構成)

構成試薬名	成分
γ -GT緩衝液①	
γ -GT基質液②:	L- γ -グルタミル-3-カルボキシ-4-ニトロアニリド・アンモニウム グリシルグリシン

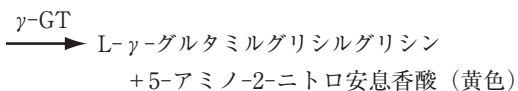
使用目的

血清又は血漿中の γ -グルタミルトランスペプチダーゼの測定

測定原理

1. 測定原理

検体中の γ -グルタミルトランスペプチダーゼ (γ -GT) がグリシルグリシンの存在下基質であるL- γ -グルタミル-3-カルボキシ-4-ニトロアニリドの γ -グルタミル基をグリシルグリシンに転移し、このとき遊離する5-アミノ-2-ニトロ安息香酸の生成速度を測定することにより γ -GT活性値を求めます。

L- γ -グルタミル-3-カルボキシ-4-ニトロアニリド+グリシルグリシン

2. 特長

主成分の終濃度はJSCC勧告法の終濃度と一致しています。

操作上の注意

1. 測定試料の性質、採取法

- 1) 測定試料
血清又は血漿（ヘパリン血漿、EDTA血漿、クエン酸血漿、NaF-EDTA血漿）が使用できます。
- 2) 測定試料の保存について
血清（漿）分離後、当日中に測定できない場合は冷蔵（2～10℃）あるいは冷凍（-20℃以下）で保存してください。¹⁾
なお、測定に際しては、検体を室内温度（15～30℃）に戻してから測定してください。

2. 妨害物質

遊離型ビリルビン40mg/dLまで、抱合型ビリルビン40mg/dLまで、ヘモグロビン500mg/dL、ホルマジン濁度数5600度まで、アスコルビン酸50mg/dLまで測定値に影響はありません。

3. その他

- 1) 検量用物質には、酵素キャリブレータープラス「第一」（当社品）を使用してください。
- 2) 測定範囲に関する注意
検体の活性が測定範囲を超える場合は、検体を生理食塩液で希釈して再測定してください。
- 3) 本品は、Atellica® CH 生化学自動分析装置専用試薬です。ご使用にあたっては、必ず測定装置の添付文書及び取扱説明書をよくお読みください。

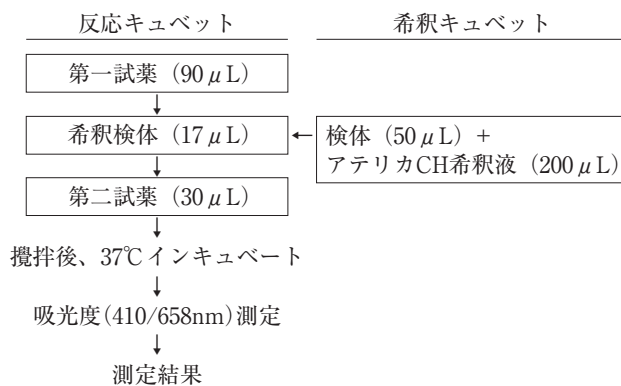
用法・用量(操作方法)

1. 試薬の調製法

試薬パックはすべて液状のため、そのまま使用してください。

2. 測定(操作)方法

機器により次の操作が自動的に実施されます。



測定時間: 9.7分

検量用物質: 酵素キャリブレータープラス「第一」(当社指示値)

測定結果の判定法

1. 参考基準範囲²⁾

男性: 13～64U/L
女性: 9～32U/L

(JCCLS共用基準範囲)

2. 判定上の注意

検体により、検体中の目的成分以外の物質との反応や妨害反応を生じることがあります。測定値や測定結果に疑問がある場合は、再検査や希釈再検査、あるいは他の検査方法により確認してください。

臨床的意義

γ -グルタミルトランスペプチダーゼは腎、膵、前立腺、肝などヒトの体内の組織にきわめて広く分布している酵素で γ -グルタミルペプチドを加水分解し、 γ -グルタミル基を転移させます。

血中の γ -グルタミルトランスペプチダーゼ活性は主として閉塞性黄疸、肝臓、アルコール性肝障害で上昇し、その測定法としては合成基質を用いた反応速度測定法が広く使用されています。

性能

1. 感度

- 1) 試薬ブランク 吸光度変化量は0.02/分以下
- 2) 感度 γ -グルタミルトランスペプチダーゼ活性200U/Lにつき吸光度変化量は0.083～0.124/分

2. 正確性 測定期待値の90～110%
3. 同時再現性 変動係数3%以下
(1～3までの試験方法は弊社試験方法による)
4. 測定範囲 (Atellica®CH生化学自動分析装置による)
1～2000U/L
5. 相関性⁸⁾
1) 血 清 (7250形日立自動分析装置による)
 $N = 100 \quad r = 0.999 \quad y = 0.98x + 1.8$
対照法：既承認体外診断用医薬品
(JSCC標準化対応法)
- 2) 血 漿 (7170形日立自動分析装置による)
 $N = 90 \quad r = 0.999 \quad y = 1.01x + 0.1$
対照法：既承認体外診断用医薬品
(JSCC標準化対応法)
6. 校正用標準物質
日本・常用酵素標準物質 (検査医学標準物質機構)

使用上又は取扱い上の注意

1. 取扱い上 (危険防止) の注意
検体はHIV、HBV、HCV等の感染の恐れがあるものとして取り扱ってください。検査にあたっては感染の危険を避けるため使い捨て手袋を着用し、また口によるピペッティングを行わないでください。
2. 使用上の注意
1) 本品は凍結を避け、貯蔵方法に従い保存してください。
凍結させた試薬は、品質が劣化して正しい結果が得られないことがありますので使用しないでください。
- 2) 使用期限を過ぎた試薬は、測定値の信頼性を保証しかねますので、使用しないでください。
- 3) 試薬を注ぎ足して使用することは避けてください。
- 4) 測定は直射日光を避けて行ってください。
3. 廃棄上の注意
1) 使用済の検体及び検体容器などを廃棄する前に0.1%濃度以上の次亜塩素酸ナトリウム溶液に1時間以上浸すか、又はオートクレーブ (121℃、20分間) で処理してください。
- 2) 検体又は検体を含む溶液が飛散した場合、感染を防止するため、0.1%濃度以上の次亜塩素酸ナトリウム溶液等でよく拭き取ってください。
- 3) 試薬及び処理した検体の残りなどを廃棄する場合には、廃棄物に関する規定に従い、医療廃棄物又は産業廃棄物などとして処理してください。
- 4) 試薬の廃棄にあたっては、水質汚濁防止法等の規制に留意してください。
4. その他の注意
容器等は他の目的に転用しないでください。

貯蔵方法・有効期間

1. 貯蔵方法 2～10℃
2. 有効期間 製造後1年間
(使用期限は外装に記載してあります)

包装単位

名 称	包装単位	シーメンスコード
ピュアオートS γ -GT	1600テスト用 γ -GT緩衝液①4本 γ -GT基質液②4本	10918675

主要文献

- 1) Medical Practice 編集委員会・編：臨床検査ガイド2015：p135, 文光堂 (2015)
- 2) 金井正光監修：臨床検査法提要, 第35版, p.633, 金原出版 (2020)
- 3) 日本臨床化学会酵素専門委員会：JCCLSレポート 10, 19(1995)
- 4) IFCC Section No.5. 1：Clin. Chim. Acta. 135, 315 F(1983)
- 5) Persijn, J. P., et al.：J. Clin. Chim. Clin. Biochem. 14, 421 (1976)

- 6) 大澤 進：Medical Technology 20, 1022 (1992)
- 7) 日本臨床化学会：臨床化学 25, 135 (1996)
- 8) 積水メディカル株式会社 社内データ

お問い合わせ先

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
カスタマーケアセンター
電話：03-4582-5520

販売元
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎 ウェストタワー

製造販売元
積水メディカル株式会社
東京都中央区日本橋二丁目1番3号

Atellica®はSiemens Healthcare Diagnosticsの登録商標です。
ピュアオートは積水メディカル株式会社の日本における登録商標です。